ICOM ご使用になる前に

RoIP GATEWAY

VE-PG3

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、弊社製無線機をVoIPネットワークに融合するコンバーターユニットです。
本書では、基本的な設定を説明しています。
本書をお読みいただく前に、別紙の「ご注意と保守について」をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

ご使用までの流れ

本製品を設定されるときは、次の手順にしたがってお読みください。

Step 1
必要なものを確認する
- 付属品について
- CD（UTILITY DISC）の使用方法について
- ご用意していただくもの
- 別売品について

↓

Step 2
接続する無線機を設定する
本製品に接続する無線機のチャンネルや音量などを設定します。
※無線機の設定について詳しくは、ご使用になる無線機の取扱説明書を併せてご覧ください。

ご使用になる前に（本書）

↓

Step 3
ネットワークを設定する
ご利用の環境に合わせて、LAN側のIPアドレス（出荷時の設定：192.168.0.1）などを設定します。

↓

Step 4
動作モードを設定する
出荷時、本製品は、ブリッジモードに設定されていますので、運用形態に応じて動作モードや各機能を設定します。

導入ガイド①（別紙）

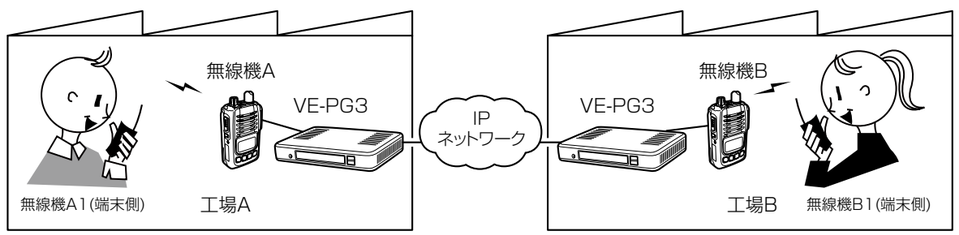
↓

Step 5
無線機を接続する
弊社指定の接続ケーブルを使用して、本製品と無線機を接続します。
※各機器の電源が切れていることを確認してから、本製品と無線機を接続してください。

導入ガイド②（別紙）

【本製品の動作モードについて】

◎ブリッジモード(出荷時の設定) ： IPネットワークを介して無線機同士で通話する場合に設定します。
◎コンバーターモード ： 弊社製のIP電話機と無線機で通話する場合に設定します。



ブリッジモード(イメージ図)

（各機能の詳しい設定などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。）

RS-PG3（監視ツール）について

本製品に接続された無線機の設置場所には、無線機の送信状態などを監視する管理者が必要です。
設置した場所に管理者がいない状態でご使用になるときは、本製品と同じネットワークに接続されたパソコンからRS-PG3を起動して、監視できる環境を構築してください。
使用方法については、付属CDに収録されている説明書をご覧ください。

Step 1　必要なものを確認する

付属品について

□ACアダプター …… 1
□フェライトコア…… 1
□ビス（4本）★1 …… 1
□ご注意と保守について
□導入ガイド①
□保証書
□クッションシート …… 1
□コネクター（補修用） ……24
□CD（UTILITY DISC）
□ご使用になる前に（本書）
□導入ガイド②

★1 弊社別売品のMB-99A(壁面取付プレート)で使用するビスです。
取り付け方法など、詳しくはMB-99Aの取扱説明書をご覧ください。

CDの収録内容について

◎ RS-PG3(監視ツール)★2
◎ RS-PG3インストールガイド(PDFファイル)
◎ RS-PG3取扱説明書(PDFファイル)
◎ Virtual Serial Port(仮想シリアルポート)★2
◎ Virtual Serial Port取扱説明書(PDFファイル)
◎ Adobe® Reader®（インストーラー）

★2 ご使用になる前に、付属CDに収録されている説明書をよくお読みいただき、動作環境や注意事項などをご確認ください。

CD（UTILITY DISC）の使用方法について

1 パソコンのCDドライブに挿入して、CDに収録されている「Menu.exe」をダブルクリックします。
※ご使用のパソコンで、拡張子が表示されないときは、フォルダーオプションから拡張子の表示設定を変更してください。

2 メニュー画面が表示されたら、目的のボタンをクリックします。

ご用意いただくもの

□ 設定用パソコン
□ アース線
□ 弊社製無線機★4
□ 弊社製VoIPルーター★5
□ LANケーブル
□ HUB★3
□ ご使用になる無線機の取扱説明書

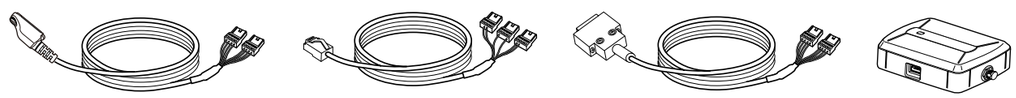
★3 本製品は、MDI(ストレート)/MDI-X(クロス)の自動判別機能に対応していますので、HUBをお持ちでない場合でも、LANケーブルで本製品とパソコンを直接接続できます。
★4 接続ケーブルなど、本製品と無線機を接続するときに必要な弊社別売品については、下記一覧をご覧ください。
★5 本製品をコンバーターモードでご使用になる場合に必要です。

別売品について

（2012年10月現在）

本製品に接続する無線機により接続ケーブルなど、必要な弊社別売品が異なりますのでご注意ください。

OPC-2269	携帯機接続ケーブル（約5m）	（対応無線機：IC-4800、IC-4810、IC-D50、IC-D60、IC-DPR5、IC-DPR6）
OPC-2270	車載機接続ケーブル（約5m）	（対応無線機：IC-D5005、IC-DPR1）
OPC-2271	車載機接続ケーブル（約5m）	（対応無線機：IC-MS4880）
AD-107H★6	外部電源装置	（対応無線機：IC-4800、IC-4810、IC-D50、IC-D60、IC-DPR5、IC-DPR6）
CT-24★7	DIGITAL VOICE CONVERTER	（対応無線機：IC-DU5505CN）
MB-99A★8	壁面取付プレート	



★6 本製品に接続する携帯機の電源は、弊社指定のものをご使用ください。
バッテリーパック、または電池ケースで携帯機を運用すると、本製品が誤動作する原因になります。
★7 本製品にIC-DU5505CNをネットワーク接続し、かつ相手方がG.711コーデックを使用する場合に、CT-24が必要となります。
★8 本製品を壁面や棚などに固定するときは、弊社指定のものをご使用ください。

別売品についてのご注意

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。
弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じるネットワーク機器や無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

説明書（PDFファイル）をご覧いただくには

付属CDに収録されている説明書、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧いただくには、Adobe® Reader®が必要です。
お持ちでない場合は、付属CDからインストールしていただくか、Adobe®ホームページからソフトウェアをダウンロードしてください。
※各機能の詳しい設定などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

アイコム株式会社　取扱説明書 ダウンロード　http://www.icom.co.jp/support/download/manual/

裏面につづく➔

Step 2　接続する無線機を設定する

【ご注意】　無線機を本製品に接続する前に、無線機の設定を完了しておいてください。

対応無線機について

（2012年10月現在）

本製品に接続できる弊社製無線機は、下記のとおりです。
※相互使用できる端末側無線機については、ご使用になる無線機の取扱説明書をご覧いただくか、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

◎ デジタル簡易無線機(登録局)　：IC-D50、IC-D60、IC-DPR5、IC-DPR6、IC-D5005、IC-DPR1
◎ デジタル簡易無線機(免許局)　：IC-DU5505CN
◎ 特定小電力　：IC-4800、IC-4810
◎ 特定小電力(同時通話型)　：IC-MS4880

無線機の設定について

本製品に接続する無線機を下表のように設定します。
※通話チャンネル、トーンスケルチ/ユーザーコード(UC)、個別呼び出し機能については、端末側無線機も同じ設定をしてください。
　無線機の設定について詳しくは、ご使用になる無線機の取扱説明書を併せてご覧ください。

製品名 / 設定項目	特定小電力無線機		デジタル簡易無線機(登録局)					
	IC-4800	IC-4810	IC-D50	IC-D60	IC-DPR5	IC-DPR6	IC-D5005	IC-DPR1
通話チャンネル	単信1～20の任意		1～14、16～30の任意					
音量	8	12	5				7	
トーンスケルチ/ユーザーコード(UC)	トーンスケルチを使用		ユーザーコード(UC)を使用					
ポケットビープ(PB)	ポケットビープ OFF							
個別呼び出し機能	個別呼び出し機能 OFF							
パワーセーブ機能	パワーセーブ機能 OFF						－	

◎通話音質に影響しますので、本製品に接続する無線機は、上表の値を基準に設定してください。
◎予期しない外来雑音やほかの無線機の信号で誤動作しないように、端末側無線機も同じトーンスケルチ/ユーザーコード(UC)を設定してください。
◎無線機のビープ音で本製品が誤動作しないように、本製品に接続する無線機は、ポケットビープをOFFに設定してください。
◎本製品のポート(TRX1、TRX2、EXT1、EXT2)は、個別呼び出し機能に対応していませんので、本製品に接続する無線機、端末側無線機とも個別呼び出し機能をOFFにしてください。
◎通話開始時の頭切れを軽減させるため、パワーセーブ機能をOFFにしてください。

IC-MS4880をご使用になる場合

本製品にIC-MS4880を接続して使用する場合は、IC-4880以外の無線機と混在して運用できません。
IC-MS4880の設定や接続方法、運用上の注意事項については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

IC-DU5505CNをご使用になる場合

本製品にIC-DU5505CNをネットワーク接続して使用する場合は、販売店へ無線機の設定をご依頼ください。
なお、本製品にIC-DU5505CNをネットワーク接続し、かつ相手方がG.711コーデックを使用する場合に、CT-24が必要となります。
IC-DU5505CNの設定やCT-24の接続方法、運用上の注意事項については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

【ご注意】　本製品に無線機を2台以上接続する場合、無線機同士の電波干渉を防ぐため、下記を参考に通話チャンネルを設定し、無線機同士の距離(携帯機)やアンテナの設置場所(車載機)が近すぎないように設置してください。

無線機のチャンネル設定と設置距離について

本製品に無線機を2台以上接続する場合、チャンネル間隔、アンテナ間距離について、どちらも大きくはなすことにより、無線機の相互干渉による影響を低減できます。

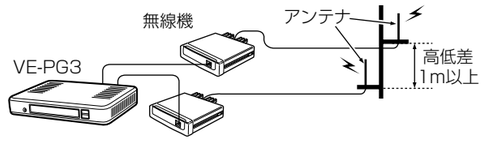
	IC-D50/IC-D60 IC-DPR5/IC-DPR6 IC-D5005/IC-DPR1	IC-4800/IC-4810
IC-D50/IC-D60 IC-DPR5/IC-DPR6 IC-D5005/IC-DPR1	推奨チャンネル間隔：10チャンネル以上 推奨アンテナ間距離：5m以上	推奨アンテナ間距離：3m以上
IC-4800/IC-4810	推奨アンテナ間距離：3m以上	推奨チャンネル間隔：5チャンネル以上 推奨アンテナ間距離：3m以上

電波干渉の低減について

本製品に無線機を2台以上接続する場合、無線機の相互干渉により通信性能が劣化することがありますので、下記の方法により電波干渉を低減させてください。

アンテナの指向性を活用する

水平面に対して指向特性がない無指向性アンテナでも、垂直方向は電波が弱くなります。
2本のアンテナを固定する位置に高低差(1m以上)をつけることで電波が弱くなり、電波干渉が低減することがあります。

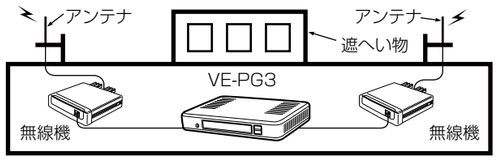


Lowパワーに設定する(無線機の送信出力を変更できる場合)

アンテナの設置場所を変更しても電波干渉が低減しない場合、本製品に接続する無線機の送信出力をLowに設定すると、電波干渉が低減することがあります。
ただし、Lowパワーに設定すると、電波の届く範囲が狭くなり、場所によっては交信しにくくなることがあります。

周囲の遮へい物を利用する

金属補強材が埋め込まれたコンクリート壁や金属製のロッカーなどで、互いのアンテナを遮るような位置に設置すると、電波干渉が低減することがあります。



別紙の「**VE-PG3導入ガイド①**」につづく➔

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-7048W-2J Printed in Japan © 2012 Icom Inc.